



たわらもとウォッチング

まちのできごとを紹介します



古事記を編纂した太安万侶に、音楽や踊りで奉納
古事記1300年紀 春の大例祭「おおれんぞ」

4月15日、古事記編纂に携わった太安万侶が祭られる多神社で、春の大例祭「おおれんぞ」が行われました。

これは五穀豊穡を神に祈る春祭りです。主なる行事は「おもちまき」。例年多くの参拝者が、撒かれたお餅を取り合います。今年も、古事記が編纂されて1300年です。これを記念して午前10時に式典が行われ、午後には、多が太安万侶ゆかりの地であることをアピールするために「田原本町古事記1300年紀事業実行委員会」協賛による芸能奉納が演じられました。

芸能奉納は、世界初の電子楽器テルミンの演奏で書と花が競演する「ふることぶみ」、太安万侶を讃える曲などを演奏する町内フルートアンサンブル「レパール」、笛や太鼓に合わせた舞う町観光協会の風流舞「奏楽」が行われました。一方、町商工会による地場産品の販売も行われ、あられやんにく製品、いちご大福(多の農家が栽培したいちごを町内の和菓子店が加工)などが並べられました。

当日は、芸能奉納を鑑賞したり、地域の食に触れたりする人で賑わい、最後の行事「おもちまき」では、例年以上の盛り上がりを見せました。



大人も子どもも一体となり、村中を練り歩く
矢部の綱かけ

5 / 5



▲道中、人々を綱で巻いて祝う

矢部の綱かけは、米や麦が豊作であるように、また邪霊がこの村に入らないようにと祈願する祭り、江戸時代から続いているといわれています。
5月5日、矢部公民館から、一同は綱を担いで伊勢音頭に合わせて村中を練り歩きました。道中、過去1年間に婿嫁を迎えた家、自治会役員宅、昨年



▲参加者全員で豊作と村の安全を祈る



▲綱を担いで村中を歩く

と来年の当屋宅などに綱を持ち込んで祝い、家の人を綱で巻いていきます。村を周回すると、村の南端小字ツナカケにある木に綱が掛けられました。稲苗・御神酒、牛の版画、模型の唐鋤馬鍬などが供えられた後、僧侶の読経があり、参加者全員で豊作と村の安全を祈っていました。



▲大仙公園内を歩く参加者たち

堺市の歴史と伝統に触れる
第89回歩こう会

4 / 30



▲代表で誓いを述べる森田泰亮さん(右)

スポーツをとおしてさらなる成長を誓い
田原本町スポーツ少年団入団式

4 / 21

4月30日に「第89回歩こう会」が開催され、参加者147人が伝統と歴史のまち大阪府堺市を歩きました。
堺市役所の21階展望台では、百舌鳥古墳群の豊かな緑、大阪市街地や関西国際空港を一望。堺刃物伝統産業会館では刃物の製造工程や歴史に触れました。与謝野晶子生家跡や千利休屋敷跡を過ぎ、バスで仁徳天皇陵へ移動し、大仙公園内の日本庭園を散策。参加者たちは歴史と伝統を楽しみながら約8キロを歩き、帰路に着きました。

4月21日に中央体育館で「田原本町スポーツ少年団入団式」が行われました。今年度の入団者は204人です。
式は岩田成弘本部長と来賓の片倉照彦教育長のあいさつから始まり、各地区指導者の紹介が行われました。
その後、全団員を代表して森田泰亮さん(東地区スポーツ少年団)が誓いの言葉を述べ、スポーツで心身の健康を養うとともに、ルールを守る立派な人間になること、努力や友情を大切にすることなどを誓いました。